

## 農林課長の仕事宣言！

農 林 課 長 松隈 久雄

①重点施策項目名	地産地消の取組を推進します
②目標値	生産者と消費者の交流会 〔平成30年度〕（現状値）8回 ⇒ 平成30年度末 8回 〔後期基本計画〕 （平成26年度）8回 ⇒ 平成32年度末 8回
③今年度の取組方針	新鮮で安全・安心な地場産の農産物の生産及び販売による消費拡大と、生産者と協力し、農業体験や学校給食等を通じ、地産地消を推進します。
④今年度の取組結果	7月に米米コンテストの作品募集を行い、677点の応募で入選作品12点を選出しました。10月に二次審査として試食審査を実施し、最優秀賞など各賞を決定しました。その結果を市報や市HPに掲載し、地元農産物を使ったメニューのPRを行いました。 1月に市内8小学校で、3年生又は4年生を対象とし「地元生産者との交流会」を開催しました。農業生産者より農業や地元農産物について講話をした後、児童と給食の会食を行うことで、農業や地元農産物に対する理解を深め、食に対する感謝の気持ちを育むことができました。
⑤数値目標の結果	市内8小学校の全校で開催することが出来目標を達成することができました。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	地元生産者との交流会については、全国学校給食週間（1月24日～1月30日）の時期に合わせて毎年実施していますが、インフルエンザの流行の時期に重なっているため開催時期の見直しが必要だと考えています。

## ◇所管部長の指示

地産地消の取組については、生産者との協力体制を得ながら、継続して取り組むとともに、開催時期の見直しについては、早急に検討すること。

## 農林課長の仕事宣言！

農 林 課 長 松隈 久雄

①重点施策項目名	農作物のブランド化を図ります
②目標値	野菜作付面積 〔平成30年度〕（現状値）96ha ⇒ 平成30年度末 88ha 〔後期基本計画〕 （平成26年度）84ha ⇒ 平成32年度末 89ha
③今年度の取組方針	基幹作物である米・麦・大豆に加え、野菜等の産地づくりを進めるとともに、消費者から選ばれる作物づくりのために県版GAP（農業生産工程管理）の導入を推進し、農作物の高品質化等の付加価値により、ブランド化を図ります。 また、鳥栖市産農作物をふるさと納税の返礼品とするための取組を関係機関と検討します。
④今年度の取組結果	GAPの導入推進については、県園芸課が7月に開催した研修会に環境保全型農業支払い交付金の対象者3名が参加しました。 ふるさと納税の返礼品に農作物として「自然薯」が登録されました。
⑤数値目標の結果	野菜作付面積は平成30年度末で約101haで数値目標は達成しています。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	農作物のブランド化については、カルビーへのジャガイモ、キャベツ、タマネギの栽培面積の増や、ダイコンのカット野菜場への出荷など取り組まれています。一層の取組拡大を生産者、関係機関と連携し、検討していく必要があると考えています。

## ◇所管部長の指示

農産物のふるさと納税への返礼品登録後の生産量等について検証を行い、新たな登録について、生産者や関係機関等との協議を継続すること。

## 農林課長の仕事宣言！

農 林 課 長 松隈 久雄

①重点施策項目名	集落営農組織の法人化を推進します
②目標値	集落営農組織の法人化 〔平成30年度〕（現状値）3組合 ⇒ 平成30年度末 4組合 〔後期基本計画〕 （平成26年度）0組合 ⇒ 平成32年度 8組合
③今年度の取組方針	法人化を検討されている集落営農組織に対して、法人化に関する課題、問題点等を解消し、法人設立に向けた取組を関係機関と連携し、推進します。
④今年度の取組結果	現在、法人化を検討している集落営農組織は、基里地区水田営農組合、麓西部地域営農組合、田代東部営農組合の3組合があります。そのうち基里地区水田営農組合が、H31.1から毎月1回の発起人会を開催し、法人化に向けた課題、問題点の解消、意志の統一を図るため、県、JAなどの関係機関と連携し対応を行っています。
⑤数値目標の結果	基里地区水田営農組合については協議の場が設けられ一定進んでいますが、麓西部地域営農組合、田代東部営農組合の2組合の法人化に向けた話し合いが進んでいない状態です。 集落営農組織の法人化について、数値目標は達成していません。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	法人化を検討している集落営農組織については、引き続き法人化発起人会等に参加し、法人化した組織の効果を情報提供するとともに、課題、問題点の解消に向けて、県、JAなどの関係機関と連携を図りながら法人化の推進を行っていきます。

## ◇所管部長の指示

農地の集約化・効率化、担い手不足の解消など、法人化することで得られるメリットを周知することで、新たな法人化への動きにつながるように取り組むこと。

## 農林課長の仕事宣言！

農 林 課 長 松隈 久雄

①重点施策項目名	農村交流推進事業の取組を推進します
②目標値	<p>イベント参加者数 〔平成30年度〕(現状値) 150人 ⇒ 平成30年度末 250人 〔後期基本計画期間〕 (平成26年度) 一人 ⇒ 平成32年度 300人</p>
③今年度の取組方針	<p>市民の森、河内ダム等自然豊かな地域資源が存在する河内町地域における、都市住民と農村の交流を推進するために、その地域資源を活用した取組を行って行きます。</p> <p>また、滞在型農園施設の大規模改修を実施し、施設の利便性向上に取組めます。</p>
④今年度の取組結果	<p>コカ・コーラ ボトラーズジャパン鳥栖市民の森を活用したイベントとしては、山林の所有者や山林の整備に興味がある方を対象に、10月13日(土)に「山林の体験講習会」を開催、14人の参加がありました。また、11月23日(金)に「秋さんぽノルディックウォーキング」を開催し、80人の参加がありました。</p> <p>河内河川プールについては、豪雨災害の影響により、開催期間を7月28日(土)から8月31日(金)とし、12,153人の利用がありました。</p> <p>また、地域休養施設、滞在型農園施設の大規模改修工事を行いました。</p>
⑤数値目標の結果	<p>豪雨災害の影響もあり、市民の森イベント参加者数及びプール利用者数が減となりました。</p> <p>イベント参加者数 平成29年度 171人 ⇒ 平成30年度 94人</p> <p>プール利用者数 平成29年度 15,643人 ⇒ 平成30年度 12,153人</p>
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<p>リニューアルをする地域休養施設、滞在型農園施設を中心に、コカコーラボトラーズジャパン鳥栖市民の森、河内河川プール等の施設を有機的に連携させ、地域住民との交流機会の場を設けるなど、鳥栖市における河内地区の魅力を知ってもらい、地域の活性化につなげていきたい。</p> <p>このためには、整備後時間が経過し老朽化が進行している各施設の再整備の検討が必要であると考えています。</p>

## ◇所管部長の指示

豊かな地域資源がある河内地区の魅力向上のための取組を推進していくこと。また、各施設の再整備については、様々な観点から検討を行うこと。